

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 29 年 12 月 25 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3490100579		
法人名	有限会社百樹		
事業所名	グループホーム百樹		
所在地	広島市南区青崎2丁目15番2号 (電話) 082-236-1527		
自己評価作成日	平成29年11月25日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_2017_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3490100579-00&amp;PrefCd=34&amp;VersionCd=022">http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_2017_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3490100579-00&amp;PrefCd=34&amp;VersionCd=022</a>
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	平成29年12月22日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

家庭的な雰囲気を大事にしつつ、個々の利用者の個性を把握し認知レベル・身体レベルの維持、向上を考えながら日々の介護を行っております。利用者様の尊厳に配慮することを職員全員に周知し介護に努めております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

敷地内の系列福祉施設と様々なイベントなどで合流し共に楽しめる仕組みを活用している。季節の地域行事をはじめ、近隣の小学校から「町たんけん」で施設訪問を受けたり保育園児との交流など、自然なかたちで地域に溶け込み交流を重ねている。運営推進会議には地区会長・民生委員・町内婦人部など地域代表者の参加が多く、より良い環境づくりに向けて共に働き共に生きる姿勢が伺える。職員間の交流が円滑に行われる中、更なる家族との信頼関係を築くべくチームケアの向上を目指し日々尽力している事業所である。

自己評価	外部評価	項目( Aユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践に近づけている。	「感謝の心で共に働き共に生きる」という我が社の理念を職員に浸透させるために朝礼の時間を使い唱和を行っています。介護においても、利用者様に感謝の心を忘れず接するように職員一同心掛けております。	職員は、法人の基本理念である「感謝の心で共に働き生きる」を念頭に置き、現状を踏まえ社会のニーズに応えていく課題を見定めつつ共有している。毎朝礼時に理念を唱和し、職員間で意識統一に努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地域の行事に参加させていただいています。(運動会・お祭り見物等)また、青崎保育園や小学校との交流で行き来させていただいています。気候の良いころは、近所の散歩を行い挨拶させていただいています。	町内祭りのお神輿見物や様々な催しに参加し、地域との交流の絆を深めている。すぐ傍の小学校から「町たんけん」で訪問を受けたり、定期的に保育園児とのふれあいの機会を設けるなど世代間交流に努め、地域の一員として日常的に関わりを持つよう取り組んでいる。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	地域の相談窓口として、地域住民の方々のご相談に応えたり認知症についての関わりなどお問い合わせいただきました折にはアドバイスさせて頂いております。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2ヶ月に一度の運営推進会議を通しグループホームでの皆様の暮らしについて報告を行い、参加いただいた方からの意見をいただき、日々の介護に反映させていただいております。	隔月開催の当会議には行政関係者・地域代表者など多方面からの参加を得て、状況報告や行事報告並びに意見交換が行われている。家族の参加が見受けられない点が今後の課題である。	会議へ参加しやすいテーマづくりや内容の充実を図ることで、家族・関係者の幅広い参加を募り、多くの見解が得られるような取り組みに期待します。
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進会議には地域包括支援センターの職員様に出席をお願いし、会議後には開催状況記録をFAXにて送信させていただいております	運営推進会議への地域包括支援センター職員の参加をはじめ、日頃から相談や手続きなどで密に連携し、ケアサービスの充実を図るよう取り組んでいる。同業者交流や研修を通じ、地域との関わりを持ち積極的に協力関係を紡いでいる。	

自己評価	外部評価	項目( Aユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<b>○身体拘束をしないケアの実践</b> 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	年に一度は必ず研修を行い、職員に身体拘束についての理解を深めてもらうように指導を行っています。外部研修にも出来るだけ参加するようにして、参加職員からは他職員にフィードバックをしてもらっております。玄関の施錠は夜間は防犯のために行っております。	法人内外の研修はもとより、日々の支援の中で職員間で意識を深め身体拘束をしないケアを実践している。ケース検討も含め、なるべく制約を加えない見守りによるケアに向け研鑽を積んでいる。	
7		<b>○虐待の防止の徹底</b> 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	研修の機会があれば参加し理解を深めるよう努めております。事業所内でも虐待についての研修を行い、職員共々虐待について勉強しております。声掛け等についても注意を払っております。		
8		<b>○権利擁護に関する制度の理解と活用</b> 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	研修を通じて制度や仕組みについて勉強し知識の向上や支援につなげております。		
9		<b>○契約に関する説明と納得</b> 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時には入居者様、ご家族様ともに重要事項説明書などの書類を読み上げて説明し、ご不明な点等につきましてお尋ねし、ご納得いただけるように説明をさせていただいております。		
10	6	<b>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</b> 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	ご利用者様・ご家族様との関わりの中で出てきたご要望については出来るだけ誠意をもってお応えするように心がけております。職員にもご家族様より要望があればきちんと報告するよう指導しております。	主に面会時やイベント時に意見や要望を伺い、集約検討し運営に反映させている。話しやすい雰囲気づくりや更に信頼関係を築ける機会を持てるよう努めている。遠方の家族には電話や手紙などで近況を知らせ、安心につながる関係性の継続に取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目( Aユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	職員ミーティングを通じて職員の意見を聞くようにしております。必要に応じて個別に話しを聞く機会を設けております。	月一回のミーティング時に話し合い、提案や意見交換を行っている。室内でのレクを充実させ活動量アップを図ることや、職員の休憩室を設け合同会議などにも活用する発案があり改善につながった実例がある。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	定期的な自己評価や勤務査定を行い、各自目標を持って勤務に当たっております。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	研修内容に関しては職員からの意見も反映させ予定をたてております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	他事業所とは交流を持ち意見の交換を行っております。		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入居前に事前面接をおこない、ご本人様・ご家族様の不安やご要望を伺っております。入居後も施設での生活に慣れるまで様子に注意しケアプランの変更も行っております。		

自己評価	外部評価	項目( Aユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>事前面接時に話をしっかりと伺い介護の方針について決めさせていただいております。入居後も変化があればご連絡させていただいております。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>ご家族とご本人の意見と状態をしっかりと見極めニーズを掘り起こしケアの方針を協議しております。ご本人の変化に合わせた柔軟な対応を心掛けております。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>日々の暮らしを通して一緒に笑いあえる関係を築いております。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>ご利用者様に変化のあった時やご要望があった時にはご家族に連絡を取り、協力を仰ぎ共にご利用者様を支援するように努めております。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>ご本人様・ご家族様の要望をお伺いし、出来るだけ意向に沿うよう施設で対応できることに関しては柔軟に対応させていただいております。電話、手紙、面会などお取次ぎいたしております。</p>	<p>近所の人たちとのふれあいや地域の祭りでの再会など懐かしい関係性を大切にした支援に努めている。今後は更にボランティアの受け入れなどを検討し、個別ケアへの活用を目指している。</p>	

自己評価	外部評価	項 目( Aユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	利用者様同士で良好な関係が作れるよう席の配置を考慮したり、レクリエーション時に顔なじみになれるよう支援しております。		
22		○関係を断ち切らない取組み  サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	退所後も居宅支援事業者を通じてご家族様との関わりを大切に、疑問や不安な点があれば対応させていただきます。		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご利用者様には担当者を設けご本人様の気持ちに寄り添い希望や要望を聞くことができるように努めております。	日常生活の中で、さりげない会話やふれあいを通じ個々の意向や思いを汲み取り、アセスメントにつなげている。最近では室内でのレクを増やし活動量のアップに努め、個々の出来ることや意欲の増進に活かせる取り組みに反映させている。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	事前面接を行い入居以前のご生活についてもお伺いしこれまでの経過について把握するように努めております。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	毎日のかかわりの中でご本人様の変化に対応できるよう職員間での情報の共有をしております。		

自己評価	外部評価	項 目( Aユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>アセスメント時にご本人・ご家族様のお話を伺い今必要なケアについて意見やご要望を確認しケアプランに反映させていただいております。</p>	<p>職員の記録やフェイスシートなどを基に、利用者・家族・医療関係者の意見を加味しながらニーズに沿ったプランづくりに取り組んでいる。個々の思いに寄り添い、生き生きと暮らせる要素を増やし、日々のケアに取り入れている。三か月毎のモニタリング、半年毎の介護計画の見直しを行っている。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>日々の様子や小さな変化も記録するようにして、職員で情報の共有を行い問題点は皆で話し合いより良い介護を行うように努力しております。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>ご本人と密にコミュニケーションをとりニーズには出来るだけ柔軟に対応するようにサービスの提案をさせていただいております。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>地域のイベントには出来るだけ参加し季節を感じ楽しんで頂いております。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>事前面接時に医療について話し合いご本人様・ご家族様の意向に沿う医療をうけられるように支援しています。内科の往診も週に一度あり、ご希望により訪問歯科・皮膚科の往診も受ける事が出来る体制をとっております。</p>	<p>内科は週一回・皮膚科、歯科は定期的に訪問診療があり、毎週の訪問看護とともに利用者の健康管理を図っている。必要であれば通院同行支援も職員が担い、診察結果などの情報は家族と共有している。感染症予防対策にも留意し服薬管理に努めている。</p>	

自己評価	外部評価	項 目( Aユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<b>○看護職員との協働</b> 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	訪問看護師とは連絡漏れの無いよう文書にてご利用者の状態を伝え看護師からドクターへの報告もおこない主治医との連携を図っております。		
32		<b>○入退院時の医療機関との協働</b> 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には施設より情報提供を行います。状況に応じ病院へも伺わせていただきます。		
33	12	<b>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</b> 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	入居前に事前面接をおこない、重度化への指針や緊急時の体制等について入念にお話をさせていただいております。終末期においてはご本人様の意向を大切にしたいと思っております。	ターミナルケアに関する指針があり、重度化した場合についての説明やその都度の話し合いを行っている。最期までその人らしく過ごせるよう医療関係者との連携やバックアップ体制を整えている。	
34		<b>○急変や事故発生時の備え</b> 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	研修を行い、緊急時の対応について学んでおります。事故が起こった時は事故委員会を開き、原因・今後の対応について話し合いをもっております。		
35	13	<b>○災害対策</b> 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	定期的に防災訓練を行い消防署にも訓練指導を行ってもらっております。	年二回、消防署員立ち会いのもと防災避難訓練を実施している。避難経路や防災機器の使用方法などの確認を行い意識を高めている。災害時に備え地域住民と連携し協力体制を整備している。	



自己評価	外部評価	項 目( Aユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	接遇について研修を行い、職員には尊敬の念をもってご利用者様に対応するよう指導しております。	普段から人生の先輩として敬意を払い、節度を保った接遇に心がけている。ライフスタイルや要望に添いつつ、無理をしない時間配分や尊厳を護った支援への意識付けを職員間で周知徹底できるよう心がけている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	職員の気持ちを押し付ける事の無いよう注意しご本人様の意向を引き出せるような声掛けを行うようにしております。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	ご利用者様の体調に注意し、ご本人様の希望を最優先に考えて支援するよう心掛けております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	ご本人様の希望を聞きながら、難しい所を手伝うように支援しております。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	楽しく落ち着いて食事ができるよう環境を整え、食事後は台拭きやトレーの片づけなど無理のない範囲でできる事を手伝っていただいております。	配食サービスでの提供が基本ではあるが、おせち料理を職員が利用者と共に手作りしたり、敬老会にはちらし寿司・クリスマスケーキのデコレーションなど一緒に楽しみながら作り味わう工夫を重ねている。中庭で採れた野菜が食卓を飾ることもあり、和やかな話題も含めて楽しみなものとなっている。	

自己評価	外部評価	項目( Aユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<b>○栄養摂取や水分確保の支援</b>  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	ご本人様の状態に合わせて食事の形態を食べやすく刻んだり、お粥などの対応もさせていただいております。食事時以外にも10時・3時にお茶の時間を設けしっかり水分がとれるよう声掛けを行っております。		
42		<b>○口腔内の清潔保持</b>  口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後口腔ケアを行っております。ご希望により訪問歯科の往診も行っております。		
43	16	<b>○排泄の自立支援</b>  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	排泄記録を付け個々の排泄パターンを把握し個人に合わせてトイレ誘導の声掛けを行っております。自立での排泄を目指し、オムツの方も体調に合わせてトイレでの排泄の声掛けをおこなっております。自尊心を傷つけないよう接遇マナーの研修を行い対応に活かしております。	排泄記録表をもとにパターンやタイミングを見計らい、トイレ誘導している。布パンツ使用の利用者もいて夜間もなるべく見守りによるトイレでの排泄を心がけ自立に向けた支援を行っている。日中の活動量を増やし、水分補給や体調コントロールも含め細やかなケアに努めている。	
44		<b>○便秘の予防と対応</b>  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	出来るだけ水分を摂取し運動を行い自然の排泄を目指し便秘の予防を心掛けております。個々の排泄パターンを把握しトイレ誘導をおこないます。体調によりどうしても便秘がちな方はドクターに相談の上対応しております。		
45	17	<b>○入浴を楽しむことができる支援</b>  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。	基本入浴日は設定しておりますが順番や時間などはできるだけご利用者様のご希望に沿うように対応しております。	曜日を決めて入浴することで気持ちが落ち着き、楽しみにしてもらえる利点もあり、コミュニケーションを交えながら支援している。保湿ケアでクリームを使用したり、時にはシャワー浴・手浴・足浴でリラックスタイムを設け、清潔や衛生面に配慮している。	

自己評価	外部評価	項 目( Aユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	居室内の環境に気を配り安眠できるように配慮しております。夜間しっかり眠れるように、体操など行い日中は活動的にすごして頂いております。		
47		○服薬支援  一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	すぐに確認できるようにお薬情報はファイルし、変化があったときは職員に周知するようにしております。		
48		○役割、楽しみごとの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	個々の状態に合わせて施設内での役割を持って頂いたり、体力や認知能力を保つために個別のレクリエーションを行っております。外出の要望にもできるだけお応えしております。		
49	18	○日常的な外出支援  一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	職員の数の問題もありますが、外に出たいと言う希望には出来るだけ短い時間でも外に出るように対応しております。気候の良い時期は中庭に移動してボール遊びなどのレクを取り入れています。遠くへの外出の希望についてはご家族様に連絡しております。	お天気の良い日には、近所への散歩や中庭の散策などで日常的に気分転換を図っている。四季折々の外出行事として、花を愛でたり、新鮮な空気に触れる機会を設けている。	
50		○お金の所持や使うことの支援  職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	利用開始時に金銭管理についてはご本人・ご家族に説明を行い、ご本人にあった方法での支援をおこなっております。		

自己評価	外部評価	項 目( Aユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>ご希望により対応致します。届いた手紙はご本人様にお渡しし、読むのが難しい方には職員が読んで差し上げる事もあります。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>清潔で生活しやすい空間を作るために各居室や共用スペースなどはマニュアルを作り清掃をおこなっております。季節を感じる事の出来る装飾を心掛けております。</p>	<p>各ユニットは自由に行き来できる構造となっている。広くゆったりとしたリビングは、ちぎり絵やクリスマスバージョンの飾り付けなどの季節を感じ取れる工夫をしたり、テレビの歌に合わせて一緒に唄うほか、様々に寛ぐ空間となっている。中庭には菜園があり、サツマイモなどを育て一緒に収穫し味わう楽しみに活かされている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>ご利用者様同士の相性なども考慮し座席の配置を考えております。自由に使用できるソファも用意してあります。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>利用開始時にご本人様の思い出の品や写真などを飾っていただいたり、施設に入居されてからも季節を感じられる装飾を職員と一緒に作って居室に飾っていただいくつろげる空間を作るよう心掛けております。</p>	<p>居室は日当たりが良く明るい設えである。なるべく家庭に近づけた雰囲気づくりに努め、お気に入りのぬいぐるみ・調度品などを持ち込み、シンプルな中にもその人らしく落ち着いて過ごせるスペースとなるよう配慮している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>利用者様一人一人の現在の状態を職員全員が把握し、安全に配慮しながらも、手を出し過ぎない待つ介護を心掛けております。</p>		

V アウトカム項目(Aユニット ) ← 左記( )内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホーム百樹

作成日 H30年1月15日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議をひらいているが活かされていらない。ご家族の参加がない。	地域の方やご家族に出来るだけ参加して頂きGHの現状を知って頂く。	現在ご家族の参加が無いので、お手紙や面会時などに参加のお願いをする。	1年
2	2	地域の方との関わりを持つ。	もっと近隣の人と関わりを持つ。	積極的に地域のイベントに参加する。ボランティアの受け入れを検討する。	1年
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。